

筆の里工房10月の休館日
 10月6日・14日・20日・27日

花魁から現代女優まで
 顔と化粧展

化粧は人類の発生と共に始まったといわれるほど長い歴史があり、それだけ人間の営みに密着してきたといえるのではないのでしょうか。その化粧の方法や目的は土地や気候、時代背景によってさまざまです。

日本では江戸時代になると庶民にも化粧が広まり、日本独特のいわゆる伝統化粧が確立します。身分制度による化粧法の制約があったとはいえ、美を求め化粧をする喜びが人々の心をとらえ続けたことは、当時の川柳や浮世絵の描写からもうかがい知ることが出来ます。



本展では、江戸時代の化粧道具、浮世絵から現代の化粧

品など八十余点を展示し、顔の化粧を通じて、江戸から現代までの美意識の変遷と筆の関わりについて紹介します。

期間 10月2日(木) ~ 11月3日(月)

荒谷大丘作品展

熊野町出身の書家、荒谷大丘氏の書作品約20点を展示します。

期間 10月7日(火) ~ 10月12日(日)

第7回筆の里ありがとのおちよつと大きな絵がみ大賞
 優秀作品展

5月5日(月)から7月7日(月)にかけて募集したちよつと大きな絵てがみと絵葉書の優秀作品展。

期間 11月5日(水) ~ 30日(日)

(前期) 11月5日(水) ~ 16日(日)

(後期) 11月18日(火) ~ 30日(日)

奨励賞のみ前期・後期にわけて展示いたします。



▲ありがと大賞
 京都府 山田 利博 さん

赤ちゃんの「誕生記念紅筆」
 を作りませんか

かわいい赤ちゃんの誕生を祝って初めて生えてきた髪の毛で紅筆を作りませんか。家族にとつて大切な記念になるでしょう。



●必要なもの

- ①カットした赤ちゃんの髪の毛
- 長さ：大人の小指から人差し指くらいの長さ(5cm)
- 量：鉛筆1本くらい(少ない場合は穂先が小さくなります)

●申込方法

筆の里工房インフォメーションに持参若しくは現金書留で郵送してください。

●規格

専用桐箱入り、赤ちゃんの名前及び生年月日を軸に彫刻

●料 金

制作費1万500円(税込) 送料240円

●入館料

大人 500円
 小中高生 250円

(20人以上団体は2割引)
 ※PAL会員は無料です

くまの歌壇

熊野短歌同好会

「母さん」と慕ってくれる吾娘の友娘を二人もちし心地す
 頑なに我がものさしをあてがえば計り難きこと積もる明け暮れ
 休耕田を刈り終えたるに餌をもつ親鳥帰る巢をこわせしか
 母なれば娘なればこそその語らいに夏の短夜早や白みくる
 キーボードに間違え打ちぬパソコンは否応なしの答えを出しぬ
 蒸し暑き夜半の窓辺に火星仰ぎ癌に逝きたる友を偲びぬ
 ゆつたりとつかる湯舟によるがあの香り仄かに流れて更けぬ

- | | | | | | | |
|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|
| 中本 寿美子 | 田中 洋子 | 原森 喜久枝 | 中井 桂子 | 高松 勝子 | 中井 千代子 | 大杉 徳子 |
|--------|-------|--------|-------|-------|--------|-------|